

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

自由民主党神戸市会議員団

神戸市会議員 灘区

吉田健吾
よし だ けん ぞ



2025年3月7日
予算特別委員会で質問

神戸市政報告

灘区版

2025.03
vol. 23

発行日 ● 令和7年3月21日

発行元 ● 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846 <http://www.jimin-kobe.com>

2月18日から令和7年度当初予算案を審議する2月議会が3月28日までの予定で開かれております。

予算編成には、「人口減少時代における持続可能なまちづくり」というサブタイトルがつけられています。私自身も40年後には100万人を切るかもしれない、大幅な人口減少を見越した行財政改革で、将来に負担を残さないという理念で活動

をしております。

人口減少時代において、行財政改革の一方で、交流人口を増加させ経済を活性化させる必要があります。開港以来、国際都市と言われながら、震災後にその色は薄くなってしまっていると危惧をしております。神戸空港の国際化を機に、再び国際都市としても輝くように議会でも議論をしていきます。

令和7年度神戸市の予算

予算総額:2兆331億円(前年度比: +1,061億円)

海と山が育むグローバル貢献都市の実現

市民1人あたりの行政コスト

一般会計の支出を市民一人あたりにすると

67万円になります

一般会計 1兆59億円(前年度比: +1,002億円)

福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

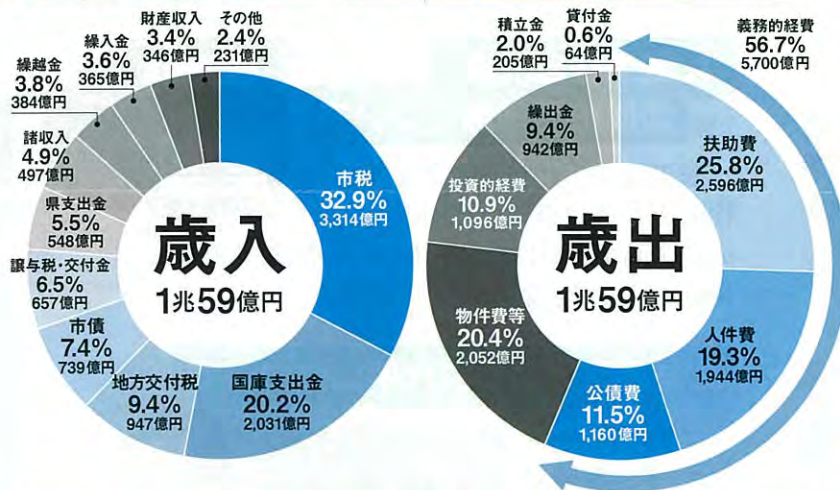
特別会計 7,119億円(前年度比: +408億円)

国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。

企業会計 3,152億円(前年度比: -349億円)

バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者みなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。

一般会計予算の概要



※令和6年12月31日時点の住民基本台帳に基づく人口1,492,604人で算出しています。
※本予算案は議会での議決を経て成立した上で、実施されます。

令和6年度議会活動の進捗報告

令和6年 第2回定例会市会
12.5 2024 本会議・一般質問

昨年12月の本会議において、「神戸空港国際化を踏まえた観光振興」「障がい者雇用」「防災対策」などについて質疑をしました。



録画中継

議事録

2025 2.25 令和7年 第1回 本会議・代表質疑

2025 2.27 令和7年度 建設局 予算特別委員会

2025 3.3 令和7年度 健康局 予算特別委員会

2025 3.7 令和7年度 危機管理室・消防局 予算特別委員会

についてはナカ面をご覧ください。➡

2.25
2025令和7年 第1回
本会議・代表質疑

1. 人口減少時代における持続可能な行政サービスについて

2025年
2月25日
本会議で
代表質疑▶

①公共交通ネットワークの再構築

人口減少、少子・超高齢社会が進展する中、子どもからお年寄りまで誰もが快適に過ごせるよう、持続可能な地域公共交通ネットワークが重要です。人口分布に基づいて、将来あるべき姿を念頭において、公共交通網のリ・デザインをするべき。



②スマート自治体の実現

本市でも40年後には人口が100万人を切る事が予想される。人口減少に伴う税収減少、人手不足で組織のスリム化は避けられない。DXの活用などで市民サービス向上や市民参画推進を大切にしながら進めるべき。



2. 児童虐待防止と対策について

西区で発生した児童虐待死事案を反省し、二度と起こさないという決意を持ち、虐待対応の状況を把握して、定期的な検証から改善をし続ける仕組みが必要。また、第三者評価も受け虐待対応の質を担保すべき。

要条例
改正

3. 部活動の地域移行について

やりたい活動ができるようにエリアに偏りなく団体を確保の上、審査は丁寧。また、会費による格差をクーポン等で解消させ、教員の参画を遮らず、子どもも保護者も地域も安心して移行できるように。

議論中
裏表紙のQ&Aも
ご覧ください！自由民主党
神戸市会議員団
吉田健吾
灘区選出

令和7年度 予算特別委員会

健康局

3.3
2025

1. 小学校におけるフッ化物洗口について

これまでモデル事業だったフッ化物洗口が事業化される。5年生、6年生へのフッ化物洗口液の配布と、重点校5校での外部人材を活用した集団洗口を組み合わせた神戸方式の今後の展望は？



実現

2. 市民病院の経営改善について

市民病院の経営が非常に厳しい。主な理由として、コロナ前までの患者が戻っていないと説明を聞いている。果たして患者は戻るのか。単純に民間病院と患者の取り合いをするべきではない。抜本的な経営改善に踏み切るべき。



これから

4. 銭湯支援について

支援策の一つとして、令和5年2月から値上げされた40円を市が補填しているが、今年度末までの措置となっている。令和7年度は、大規模設備改修助成のメニューが新設される予定だが、狙いと効果は？



3. 墓地について

①申込者の資格について

神戸に住む方が亡くなった場合、遺族が市外在住なら市立墓園は申し込みできない。墓不足から墓余りの時代になっている中で、本人が市民で、申込者が市外ということで対象外になるのは、いかがなものか？



改善へ

②合葬墓・樹林葬について

鶴越墓園の合葬墓は、あと5年で満杯になる。多様なお墓ニーズへ対応した「樹林葬墓地」は50年後、山林に戻ることになっている。合葬墓は、整備すれば永遠と行政の管理が必要である。持続可能な行政サービスになるように。



問題提起

③ペットの移動火葬について

近年、全国的にペットの移動火葬のニーズが高まっている。神戸市内でも公園内や路上で、移動火葬車が火葬している例もある。近隣トラブルにならないよう、条例や要綱を設けて、適切なお見送りができるように。



改善へ

2.27
2025

令和7年度 予算特別委員会

建設局



1. 今後のインフラ整備について

今後20年間で、建設後50年以上経過する施設の割合は加速度的に増える。人口減少や超高齢社会の中で、建設局においては、今後の道路や公園や下水等の維持管理が課題になる。コスト意識や、未来の負担を減らす技術。

2. 公園整備・特色ある公園について

「KOBEパークリノベーション」においては、「地域の状況に応じた公園の配置」や「市民に愛される公園の機能」との施策が記載されている。小さな公園における未就学児の運動神経を伸ばすことに資するような公園を整備できないか？



実施へ

3. 王子動物園について

サバンナゾーンが工事着手になるが、国鉄の鷹取工場での1号機として建造されたSLについては、どう対応するのか？園内に日よけやテントなどを整備できないのか？

SLは
故郷へ4. 灘浜住吉川線・
湾岸線西伸部について

灘浜住吉川線渋滞により、周辺の住宅街が抜け道になり、住民の方々の安全面を危惧している。摩耶ランプ南交差点付近で工夫できないか？

少し
改善

5. 自転車で楽しむ六甲山について

マウンテンバイクコースの整備やロードバイクの走行環境の向上に向けて、具体的にどのように取り組みを進めていこうとしているのか？



NEW

2025年2月27日
予算特別委員会で建設局へ質問▶

令和7年度 予算特別委員会

危機管理室・消防局

3.7
2025

1. 被災経験の継承と震災対策について

本市において、阪神淡路大震災を知らない世代が半数を超えている。震災で得た知見や経験、教訓の継承は重要である。これまでの震災対策の評価と今後の展開、また、被災経験をどのように継承していくのか？

2. 灘消防署の既存庁舎の解体について

灘消防署の新庁舎建設について、来年度には建設工事が始まる。機能が充実して、子どもの見学もしやすい署の運用開始を心待ちにしている。令和9年度に供用開始後、旧庁舎の解体工事中の運用は大丈夫か？

万全の
準備を

3. 地域防災への支援について

災害初動対応で地域住民が避難所開設できるよう、マニュアルの簡素化や開設運営手順シートの作成、避難所開設キットの設置がされる。本事業の狙いと具体的な実施内容、今後の進め方はどうなるか？



実現

4. 防災分野における女性視点の導入について

災害時に女性へ配慮した避難所運営を行うためには、女性の視点は不可欠。我が会派から、女性目線での防災対応について質疑してきた。防災会議に設ける「女性部会」で何を検討し、どう避難所運営等に反映させるのか？



5. 災害時物資の備蓄について

間仕切りテントや簡易ベッドなども含めて、備蓄計画を策定し、備蓄物資の計画的な確保と適切な維持管理を進める必要がありますが、備蓄物資の適切な維持管理に向けた今後の対応は？



6. 防災DXの推進について

阪神・淡路大震災から30年が経過し、防災関連のテクノロジーが進歩していく中、一層、防災DXを推進していくべき。





神戸市では、2026年度に部活動を終了し、生徒が地域の方々とともに活動する

「神戸の地域クラブ活動」＝「KOBE♦KATSU（コベカツ）」を開始します。

このコベカツについて、神戸市民の親子からの疑問を
吉田へのインタビュー形式でわかりやすくお伝えします。

コベカツ参加には月額3,000～4,000円程度の費用がかかるとされていますが、経済的に厳しい家庭の子どもが活動の機会を失う可能性が心配です。具体的な支援策はありますか？

吉田 残念ながら、現在は市としても、国からの支援も示されていません。いくら低廉な会費設定を団体をお願いしても、保険加入費用は最低限かかります。経験の格差を生じさせないためコベカツクーポンの発行や、交通費の無償化などを提案しているところです。

学校生活での重要な話題だった「部活トーク」や休日の過ごし方が変わること、友達や先生との関係に影響が出ないか心配ですが、どうお考えですか？

吉田 コベカツに移行されても、今までもあったような種目については、自分の学校か隣の学校で活動することになり、1校だけでなく複数校の生徒が参加するということになります。今までの「部活トーク」は「コベカツトーク」になってくれると思います。しかし、1校に同種目が複数あれば、校内でライバルチーム同士の関係になったりすることがあるので、少しトーク内容が変わることもあると思います。

また、他校との生徒の繋がりが強くなることで、トラブルがあっても校内だけでは解決せず、学校をまたがった対応が必要になることも考えられます。

先生の中には、部活も込みで生徒を成長させようという方々もいますので、授業プラスアルファのアルファをどう作っていくか、先生方の腕の見せ所になります。（余談ですが、私自身、今でも中学校の野球部顧問の先生からよくLINEがきますw 教室の外で過ごす時間が長かった部活の先生という存在は重要だと今でも思っていますが、時代背景から移行はしなければなりません。）

コベカツを通じて育まれる「神戸市のこども像」はどういったものでしょう？公教育の大切な一部分が部活動です。それが大きく変化することで影響も各所にでるのではと懸念しています。コベカツを通じて、どう子どもが成長することを期待されているのでしょうか？

吉田 HPには、コベカツをきっかけに学習・スポーツ・文化活動など、放課後や休日の過ごし方を自分で主体的に考え、判断してもらいたいと記載されています。教育長は答弁で、自立性を高め、そのことでこれからの激動の時代を生き抜く資質や能力を高めることにもつなげていきたいと述べています。

この変化で伸びる子は、どんどん伸びるだろうと思います。場合によっては、

大会やコンクール参加の機会は今まで通り確保されるのでしょうか？また、高校進学時の調査書・内申点が、不利になる懸念はないのでしょうか？

吉田 兵庫県中学校体育連盟や吹奏楽連盟などに申請すればコベカツクラブも大会に参加できます。ただ、市の大会は部活動顧問の先生が運営しているケースが多いと聞くので、今後の大会運営については課題のひとつであると思います。

いわゆる内申点についても良く聞かれますが、公立高校入試では内申点と当日のテスト点数の合計で合否が決まります。その内申点は9教科の通知表5段階評価から機械的に算出されるだけで、ここに部活動実績等を含めた加点や減点は存在しません。

一方、私立高校入試では、中には調査書の内容が加味されるケースもあるそうです。しかし、部活動と同様にコベカツへの参加についても、調査書へ記録することはできると聞いていますので、今と同程度の大会が開催されれば、スポーツ推薦などを目指すお子さまにも影響はほとんどないかと思います。

コベカツに参加しない、「どこにも所属しない」選択をした子どもへのケアはどうなっていますか？放課後の時間の過ごし方など、フォローはありますか？

吉田 昔のように全員の部活に入る時代ではなくなったものの、それでも8割程度の入部率です。自由に選択できるという理念ですが、残念ながら、どこにも所属しないことも自由に含まれてしまいます。今後、移行に際して、選択に悩む生徒には教員がフォローをしていくので、そこに期待をしています。

また、コベカツの活動時間が夜だった場合、夕方にぽっかり時間があきます。各学校が夕方の1時間程度をどう活用するのことも重要です。既に教育委員会から各学校へ知恵を絞るように号令がかかっています。例えば、補習の実施や宿題をする場の提供、生徒との面談などが考えられます。こちらからは、ALTとの英会話クラスや、理科の実験クラスなど、特色ある学びに繋がる取り組みも要望しています。



コベカツの掛け持ちも可能になりますし、選択の幅は格段に広がります。その一方で、全員が全員、自分で最適な選択をして、自分の力を伸ばすことができると思えません。時には励ましながら、時には背中を押しながらサポートしていくことも必要ではないかと考えます。自分で選択をする「練習中」だという認識のもとで、学校や保護者、コベカツクラブがサポートをしていくことが肝要だと思います。

R7年度予算について質疑しました。

予算特別委員会 消防局審査にて ▼▶



▲▼予算特別委員会
副委員長として第2分科会の進行



詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になります、山口由美です。

厳しい寒さが緩んで少しホッとする日々ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。予算議会も落ち着いてきました。新年度予算は時代の流れに合わせて新しい取り組みが進む一方、神戸市という基礎自治体に取り組むべき課題は何なのか、考えさせられる日々でした。議会が落ち着いたなら、また様々な方面の方々と意見交換をしながら、自分の考えをブラッシュアップしていきます。

引き続き、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



神戸市会議員

作成者

山口 由美

西区選出5期目

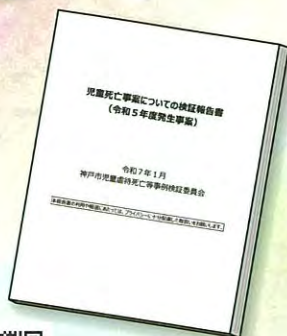
ご意見・
ご感想は...

山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933
E-mail.yamaguchi@yumiguma.com



Topics
1

西区6歳児虐待死事案の検証



くわしくはこちらから

今年1月、検証委員会の報告書が提出されました。私は事件発覚後、今に至ってもずっと、自分にできることはなかったのか、2度と犠牲者を出さないために自分に何ができるか、何に取り組むべきなのか考え続けてきました。この報告書は私にとっての道標となっています。検証委員会の先生方に心から感謝しています。



山口

事件の
概要

R5.6.22
R5.6.23
R5.7月
R6.4月

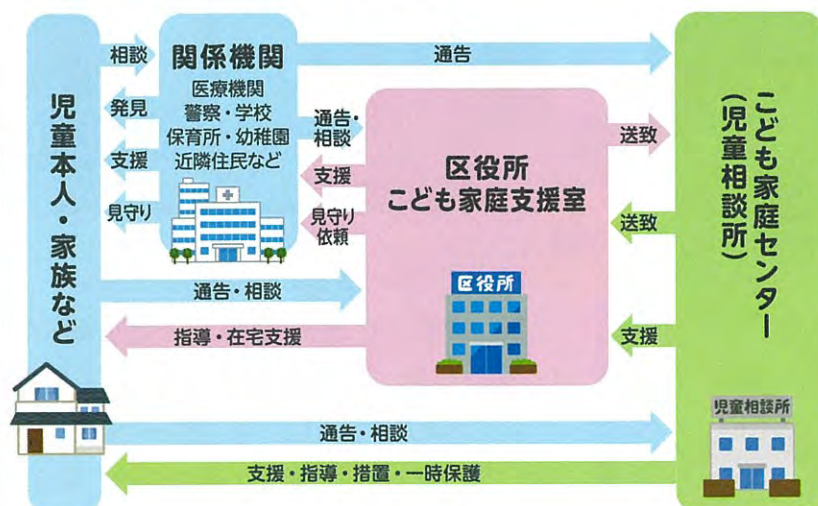
西区内でスーツケースに入った死亡している男児が発見される
司法解剖の結果、死因は外傷性ショックの疑いと判明
男児の母・叔父・叔母(2名)を死体遺棄容疑・殺人罪の疑いで再逮捕
男児の母・叔父・叔母(2名)を鑑定留置を経て傷害致死と死体遺棄の罪で起訴

※一部報道による

組織としての課題
(報告書を基にした考察)

定期的な虐待対応の現状把握と客観的評価
初動対応(子の安全確認)
アセスメントの内容と指標
一時保護の判断基準
児童相談所と区役所の連携・情報共有
職員の負担軽減・育成・適正配置 等

▼神戸市の児童虐待対応のしくみ



実際に対応された職員の方々を含め、厳しい状況の中で、批判にさらされながら今もなお、子どもたちのために日々対応されている現場の皆さん、その苦しさを少しでも分けてもらえないでしょうか。神戸市行政がどう変わらなければならないのか、組織がどうあるべきなのか、一緒に考えさせてください。現場の皆さんが不安なく、子どもたちを守ることができるように、私にできることを精一杯取り組みたいと思っています。



山口

Topics
2

山口由美の市政への提案

新生児の転院搬送について



山口

県立こども病院の迎え搬送により、重症の新生児の命が救われ、後遺症の軽減にもつながっています。どう評価していますか？

こども病院の迎え搬送は運営上続けられるか不安があるようで、神戸市の支援が必要です。明石市の事例を参考に、支援方法を検討してください。



山口

大変ご尽力いただいていると考えています。

消防局
救急担当部長

明石市の新生児搬送の現状



▼こども病院のドクターカーの運転を神戸市が担う例(山口提案)

Topics
3

山口由美が注目する新年度予算のポイント

1 いぶき明生支援学校の分校設置

児童生徒数が増加しているため、旧本多聞小学校(垂水区・改修予定)に分校を設置。R10年に開校予定、西区の方は本校のまま、垂水区の小・中学部の方は分校に通うことになります。

▼在籍児童生徒数の推移



2 医療型短期入所の受け入れ体制強化

医療的ケアが必要な障がい児者の方の短期入所ができない状況を改善するために、神戸市独自に受入事業所に助成(緊急受入はさらに上乗せ)を行うことになりました。

3 障害者雇用推進員の配置

民間企業の雇用(特に超短時間雇用)を推進するためのコーディネーターが障害福祉課に配置されます。



内容はこちらから

超短時間雇用事例集▶



Topics

3

山口由美が注目する新年度予算のポイント 中面の続き

4 災害対応力の向上

- 1 避難所 間仕切りテント等追加配備
- 2 ドローン 災害状況を把握するものを新たに配備
- 3 区役所・拠点避難所 衛星通信回線の導入

4 防災士資格取得助成制度

対象者：①防災福祉コミュニティなどに所属する市民
(50名を想定)

- ②発災時の避難所開設・運営を中心的に担い、かつ長期的に防災訓練など地域防災の担い手となっていた方

助成額：7万円/人



▲間仕切りテント

情報収集用ドローン▶



西区三師会×西区役所

→ 医師会・歯科医師会・薬剤師会

災害時の
医療救護活動に
関する覚書

3/6
締結!

三師会の先生方のご
厚意に感謝します!



山口

5 国際都市の価値向上への取り組み

1 国際チャーター便就航 4月18日~

韓国・中国・台湾へ
4社5便就航



神戸空港
第2ターミナル▶

2 大阪・関西万博 4月13日~

市内での機運醸成等

- 機運醸成重点期間などにおける取り組み
- 万博終了後の取り組み
- 万博子ども招待

神戸への誘客

- 市内施設と連携した万博特別キャンペーン

神戸・夢洲間の水上輸送

- 賛同企業と連携した市内子ども夢洲体験クルーズ 13回(夏休みの土日)程度
- 会議所と連携した国内就航都市とのビジネス交流への支援 7回程度

万博会場内での魅力発信

- 神戸市催事(8/1~3の3日間)
- 西日本九州ゴールデンルートアライアンスによる観光ブース共同出展(8/26~8/31)
- 国(経産省)の出展 医療(6/21~6/29) 水素(9/17~9/28)

6 農政関連予算

■こうべアグリパーク開業 4月12日~

旧農業公園を
リニューアルオープン



Topics

4

区民の皆様からのご意見・ご要望

こども会の活動について



男性

こども会の活動に関わっています。会員数もですが、区内のこども会の数も減ってきています。対策を一緒に考えてほしいです。

教育委員会にもご協力が得られるように働きかけます。



山口

うえなか 雅子

自民党 Lib Dems

まさこ

<http://uenakamasako.jp>

No.07-03

ごあいさつ

初当選から10年の節目を迎えました。初めての本会議質疑に臨んで、「少子高齢化社会となる2025年問題は、国魂世代の真っ只中にいる私だからこそできることがある、やるべきことがある。課題解決に果敢に取り組んでまいりたい!」と、述べさせていただきました。

初心を忘れず、高齢者の暮らしの環境整備、障がい者の超短時間雇用、切れ目のない子育て支援、生産年齢人口の拡充等々を着々と推進しているところです。

3月4日の予算特別委員会では、開村35年となる、しあわせの村の「魅力向上」「持続可能な運営」のためには、子育て世代のみならず、高齢者や若者がより入村しやすい駐車場料金の設定が望ましいことを要望させていただきました。

今後とも、誰もが幸せを実感できる暮らしの向上に努めてまいります。

神戸市会議員 うえなか 雅子



福祉局へ30分の質疑

令和7年度予算特別委員会第2分科会にて(3月4日)

「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現

神戸市 令和7年度 予算の概要

1/ 市民のくらしと安全を守る

- 震災30年関連事業 (11億5,758万円)
- 災害対応力の向上 (147億6,000万円)
- 物価高騰に対する経済支援 (112億9,000万円)
- 学校給食費の負担の軽減 (18億2,538万円)
- 健康づくりの推進・医療の充実 (15億5,400万円)



2/ 人間らしい温かい街を創る

- 高校生等の通学定期券補助 (22億7,100万円)
・市外:1/2補助に拡充(12,000円/月の基準額を撤廃 令和7年4月~)
・市内:無料(令和6年9月~)
- こべっこウェルカム定期便
・こどもが生まれた世帯に、育児用品等を月に1回、最大10回配達
・配達にあわせて声掛けや子育て情報の提供等を含めた見守りを実施
- 保育環境の充実・保育人材の確保 (89億1,200万円)
- 中学校給食の全員喫食の実施 (63億8,328万円)
- KOBE◆KATSU(コベカツ)の推進 (1億9,675万円)



3/ 持続可能な神戸を創る

- 駅周辺のリノベーション
鈴蘭台駅(45億1,324万円)、岡場駅(6,270万円)
- 空き家空き地対策の推進 (8億4,500万円)
- 地域公共交通の維持確保 (11億2,700万円)
- 農村地域等の賑わい創出 (8億5,300万円)



4/ 活気と魅力あふれる神戸を創る

- 神戸医療産業都市の推進 (1億4,000万円)
- 大阪・関西万博を契機とした取り組み (1億1,500万円)
- 観光誘客の推進 (11億4,300万円)



5/ 新しい国際都市 神戸を創る

- 神戸空港の国際化への対応 (34億600万円)
- 陸海空の広域交通結節機能の強化 (246億6,900万円)



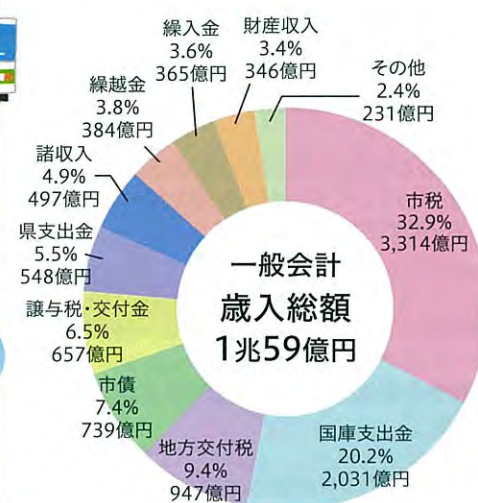
6/ DXの活用による参画を進める

- 市民向けデジタルサービスの向上 (4億6,319万円)
- デジタルテクノロジーを用いた渋滞対策 (1,200万円)
- マイナンバーカードの普及・利活用促進 (19億5,272万円)

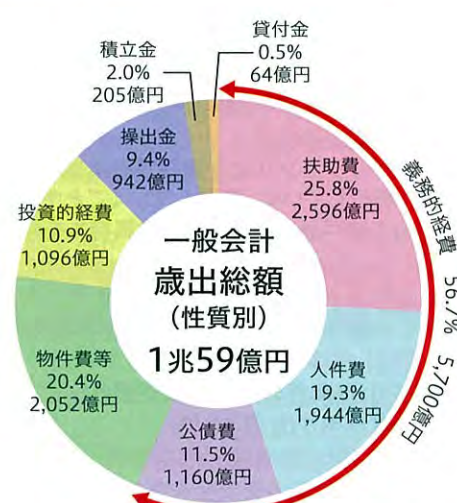


予算提案額の概要〈予算の規模〉

	令和7年度	令和6年度	増△減	伸率(%)
一般会計	10,059億円	9,057億円	1,002億円	11.1
特別会計	7,119億円	6,711億円	408億円	6.1
企業会計	3,152億円	3,502億円	△350億円	△10.0
合計	20,330億円	19,270億円	1,060億円	5.5



一般会計歳入予算の概要



一般会計歳出予算(性質別)の概要

1 民間の保育・教育施設の運営に対する支援について

【質問】 植中雅子

市内の保育ニーズに対応し、特徴ある保育人材確保の施策、いわゆる「**6つのいいね**」を打ち出すことで、教育・保育施設等への人材確保・定着支援に取り組んできた。この「**6つのいいね**」がどの程度人材の確保・定着に寄与してきたか。

【答弁】 中山こども家庭局長

保育士等の宿舍借り上げの支援事業については、国の基準に市が上乗せを行い、月額10万円で最大7年間の補助を行っている。確保・定着促進に係る一時金については、採用後7年間で総額160万円を市単独で支給するなど、他の政令市、近隣市と比べても**トップ水準**となっている。

人材確保については、待機児童解消に向け、平成29年度から令和6年度までの7年間で約4,000人分の保育定員数を増加させ、それに必要な保育士の確保ができています。人材定着については、保育所等の年間給与平均額は、市単独で行う民間児童福祉施設給与改善補助の効果もあり、全国の保育士平均を約60万円上回る水準である。令和2年度に実施した保育士資格所有者に対するアンケートにおいて、**現職保育士の約8割が、本市の人材確保策を魅力的に感じると回答**いただいた。「**6つのいいね**」の効果により、幼稚園教諭の定着が進み、新規採用に係る費用や労力の縮減につながったと評価の声をいただいている。

【再質問】 植中雅子

少子化がさらに進み、乳幼児のさらなる減少により、将来的には保育・教育施設への人材に余裕が出てくるのではないかと。その人材をどのように活用していくのか。

【答弁】 中山こども家庭局長

今後5年間で教育・保育ニーズについては減少する見込みだ。3歳児、4・5歳児の配置改善も行っている。令和8年度からは「**子ども誰でも通園制度**」が、本格施行される予定である。1歳児の配置改善も今後3年間で取り組んでいく。スキルや経験を持った保育人材が、地域の子育て支援や施設の多機能化の担い手などとして活躍し続けていただくことは重要である。

【再質問】 植中雅子

民間園が引き続き充実した保育・教育を展開し、安全で魅力的な場の提供を続けるためには、施設の老朽化や耐震工事に対する支援が重要だ。市としてどのようなサポートを行っていくのか。

【答弁】 杉浦こども家庭局幼保振興課課長

建て替え等の老朽改築事業に関しては、令和6年度予算では、補助上限額を6億円に引き上げた。公募により既に2事業者を選定し、令和9年4月に新園舎での保育の開始を目指し着手している。老朽改築事業を実施したいというご意向を**約20施設**からいただいております。事業の推進に当たっては、補助金だけではなく、技術的支援などの側面支援も含めて、総合的な支援を事業者に対して行っていく。

2 学童保育について

【質問】 植中雅子

神戸には幼児教育や保育に関する大学・短期大学が数多くある。専攻する研究者や学生が、児童館や学童保育の現場でボランティアやアルバイト等の形式で参加が進めば、子供の保育や教育に有益で、学生の研究活動にもプラス効果がある。学生に対して大学が単位認定する仕組みが広がれば、両者にとってよい結果が生まれるのではないかと。

【答弁】 中山こども家庭局長

市内の神戸女子大学や神戸親和大学など複数の大学では、学外のボランティア活動をする中で、単位を認定する仕組みがある。高倉台児童館では、神戸女子大学生ボランティアによる乳幼児向けのプログラムを実施し、こべっこランドでは、甲南女子大学と連携し、「YOYOクラブ」を実施している。引き続き、より多くの児童館・学童保育での活動・指導に協力していただけるよう取り組んでいきたい。

【再質問】 植中雅子

学童保育施設や保育施設における、防犯カメラやパーティションの設置は、性被害に対する抑止力にもなる。進捗状況は。

【答弁】 岩城こども家庭局副局長

民間保育所等では現在、保育室を写す見守りカメラを約300園で導入している。令和5年12月に補助金の要望に関する調査を行ったところ、**100を超える園から要望**があり、順次設置を行っている。

公立保育所では、全ての保育所を対象に、パーティション、目隠しボード等を設置する予定であり、性被害を含め、子供を守る観点から、0歳から2歳の保育室にカメラの設置は済んでいる。また、公設の児童館、公設の学童保育コーナーには、見守りカメラを約160の施設で導入している。

民設学童保育では、見守りカメラを5施設で導入しているが、20を超える施設から設置要望があるため、順次取り組んでいる。

【要望】 植中雅子

教育・保育施設や学童保育コーナー等で職員を採用する際に、**日本版DBS**(性犯罪歴確認制度)の導入に向けた検討が進められているが、本市の現時点での対応状況は。

【答弁】 岩城こども家庭局副局長

日本版DBSについては、令和6年6月に子ども性暴力防止法の法律が成立し、令和7年度には子ども家庭庁の概算要求にもDBSに関する必要経費が計上されている。幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育事業などの事業が対象で、認可外保育施設、放課後児童クラブ等は、任意の対象となっており、令和8年度に運用が開始される。



令和6年 決算特別委員会

1 神戸産品の戦略的なプロモーションについて

【質問】 植中雅子

神戸の地場産品のプロモーションについては、戦略的にターゲットとなる対象に訴求し、心を動かしていただくための工夫が必要ではないかと。

【答弁】 大畑経済観光局長

神戸産の靴を**シューズプロモーション**という形で事業を行った。20歳から45歳の男女をターゲット層に絞ったSNS広告は、動画再生数も2万回を超え、神戸産の靴の販売促進につながった。また、灘の酒をテーマに、水にも焦点を当てたPR動画を現在作成している。海外の著名な旅行メディア向けに、戦略的プロモーションを展開する予定もある。

【再質問】 植中雅子

世界有数の真珠の加工集積地である神戸は、このV字回復の真珠ブームを逃がさないよう、**真珠のまち神戸**をさらに発信するとともに、展示会やバイヤーを対象とした商談会だけでなく、市民にも真珠を身につけてもらうような文化を広めていくべきではないかと。

【答弁】 瀬合経済観光局副局長

令和4年度から「**ジャパンパールフェア**」にサンポートホールで行い、令和2年度からは**国際真珠入札会**も行っている。ジャパンパールフェアの成約額は20億を突破し、令和6年度以降はさらに強化させるため、会場を神戸国際展示場に移した。

【要望】 植中雅子

ファッション文化を振興する条例を3年前につくったが、条例だけがあるのではなく、実行していく、行動していくことで、結果が伴っていくものだ。市民の皆様方もそろって神戸品を愛するような気持ちを醸成していただきたい。



視聴回数が2,500回と、一定の効果が出るのではないかと考える。

今後は、対面の交流会も企画している。

令和5年度は、2日間連続の合同企業説明会を2回、計4日間神戸サンポートホールで実施した。いずれも100人を超える就職希望者が来られ、結果的に最終23名が採用に至っている。令和6年度は回数を2回から3回に拡大する予定だ。

3 有機野菜の推進について

【質問】 植中雅子

伊丹市など兵庫県下の複数の自治体において、有機農産物を使った、オーガニック給食への移行導入の予定があると聞いている。本市において、「**BE KOBE野菜**」として環境に配慮した農産物をブランド化しているが、有機農業の取り組みに対してどのように考えておられるか。

【答弁】 椿野経済観光局局長

現在、**市域の有機農業の栽培面積は、約28ヘクタールで0.6%程度**の状況である。有機農業の生産が拡大され、学校給食に供給するまでは、なかなか時間を要する。有機農業の今後の地域資源循環型農業を推進していく中で、有機農業の普及とその販路確保を関係機関と連携しながら取り組み、生産者を支援していきたい。

【要望】 植中雅子

今すぐ大規模にオーガニック給食を実施するのは難しいが、この取り組みは、丹波篠山・丹波・養父市、伊丹市が先に進んでいる。**神戸ネクストファーマー制度**でも新たな農業担い手を育成されているので、有機農業につなげる取り組みをしていただきたい。

4 神戸空港国際化による観光インバウンドについて

【質問】 植中雅子

日台議連で台湾を訪問した際、日本台湾交流協会の台北事務所で、毎年日本の企業を招いた国際展示会をしていると聞いた。残念ながら神戸からの出展はない。医療関係やAI等のスタートアップなど、神戸の持つ強みを生かして、企業が出展する機会を利用してはどうか。

【答弁】 大畑経済観光局長

ご指摘の海外展示会への出展の機会も活用し、台湾への販路開拓、市内企業の海外への展開支援をさらに力を入れていきたい。



2 中小企業者の人材確保支援について

【質問】 植中雅子

中小企業者の人材確保支援として、交流会や企業説明会を実施しているが、どのような成果が出ているか。

【答弁】 瀬合経済観光局副局長

学生と企業の交流会を実施している。令和6年度は対面形式で4回、オンライン形式で3回行った。「**神戸市エキスポ**」という取り組みを行い、市内企業4社が参加したオンラインイベントでは、視聴回数が2,500回、20社の企業が参加した企業紹介でも、

① 人口減少時代における就業人口の確保について

【質問】 植中雅子

人口減少時代に直面し、また東京一極集中が加速的に進んでいる。さらに8月には10年ぶりとなる地域手当の支給率の見直しが行われ、本市においては減額されることが決まるなど、市内の就業人口のさらなる低下が懸念される。持続可能な大都市経営を実現させていくためには、市内の就業人口の維持、減少抑制を図り、市内経済を活性化させることで市税収入を確保していくことが重要である。雇用を生み出す市内中小企業の基盤を強化するとともに、市内学生等が働きたいと思える魅力的な企業を誘致し、さらには女性の就業環境の向上を図るなど、多角的な取り組みが必要ではないか。

【答弁】 久元市長

市内中小企業の経営基盤を強化するため、DX推進による生産性の向上や製品の付加価値化、販路拡大に向けての支援に積極的に取り組んできた。若者の就業意欲が高い魅力的な企業を誘致するため、IT・コンテンツ産業に関するオフィス賃料の補助制度の拡充や、個別の企業訪問などを通じて神戸への進出を呼びかけている。令和6年度からは神戸市内企業住宅手当等支援補助金を創設し、市内在住の若手従業員を対象に住宅手当の上乗せ補助も実施している。

女性の就業環境の向上に向けては、女性の就業やキャリアアップ支援を目的とする女性活躍プロジェクトを推進し、女性のためのコワーキングスペース「あすてっぷコワーキング」の運営や在宅で仕事ができるデジタルスキル習得を目指すプログラムなど、多様な働き方を支援する取り組みを進めている。

【要望】 植中雅子

女性の社会進出については、年収の壁によって人材確保が困難となっている事例が多々ある。幼稚園においては、子育て支援や保育補助など、人手がかかる事業が増えてパート人材の確保が重要となっているが、年間保育日数を200日として1日4時間働くと130万円の壁を超えてしまう。業界的にも人材不足が課題となっている。女性がより働きやすい環境、働く意欲が湧く環境の整備を、市としても積極的に取り組んでいただきたい。

厚生労働省は、令和7年2月20日、「130万円の壁」対策として、従業員1人当たり最大75万円の補助を決定

【再質問】 植中雅子

就業人口を増加させていくという観点において、多くの職業人を産業界や地域社会に輩出している専修学校・各種学校の役割が非常に大切である。専修学校・各種学校校長、神戸市立中学校・高等学校校長を構成員とする連絡協議会を設置するなど、連携強化に取り組んでいただきたいかがか。

【答弁】 福本教育長

生徒の多様な進路選択は促進していかなければならない。今後も専修学校等の皆さんのご意見を聞きながら、どのような連携できるのか検討していきたい。

【要望】 植中雅子

市内専修学校・各種学校の卒業生の約6割は地元で就職され、リカレント教育の後に就職される方もあり、就労の人材確保の面で非常に大きな役割を果たす。今後とも積極的に取り組んでいただきたい。

② 高齢者の就労促進の取り組みについて

【質問】 植中雅子

2070年の老年人口の割合は、約42%となり、人口の大部分を占める高齢者の活躍が不可欠である。知識・経験が豊富な高齢者を、最大限活用していく必要があるのではないかと。高齢者の就労を促進していくことは、企業にとっては労働力の確保、高齢者の人脈・経験の活用、働き手には収入の増、生きがい、健康増進、社会とのつながりなどのメリットがあり、地域社会の活性化にもつながる。高齢者の継続雇用に向けた取り組みや、人材バンクのようなマッチングシステムの構築、企業の意識改革を進めることが必要ではないか。

【答弁】 今西副市長

神戸地域のハローワークでは、年間約2,000名の高齢者を就職につなげている。神戸市産業振興財団とシルバー人材センター事業を所管する神戸いきいき勤労財団を統合し、人材不足に悩む中小企業の相談や、高齢者雇用の啓発の強化を検討している。

【要望】 植中雅子

一方で、高齢者が健康で生き生きと働くことができる環境を整備していくことも必要である。70歳以上の方を対象としている鍼灸マッサージ施術割引券の対象年齢の幅を広くし、高齢者の健康増進に努めていただきたいと強く希望する。

③ 産後ケア事業について

【質問】 植中雅子

現在の本市における産後ケア事業者への委託単価は、他都市と比較しても低く、昨今の物価高騰の影響により経営が厳しいと聞く。今後人口が減少し、人材確保は難しくなる中で、産後ケア事業の質を担保しつつ持続可能な取り組みとするためには、委託費、キャンセル料の見直しが必要ではないか。令和7年からは都道府県負担が導入され、市負担が半分に減額される。その余剰を活用していくべきではないか。

【答弁】 小原副市長

神戸市の産後ケア事業については、平成26年度に県内で初めての取り組みとし

て、国のモデル事業を活用し宿泊・通所型で開始した。利用率は、全国平均は約10%、神戸市では出生数の約30%が利用している。

事業者への委託料の単価は、宿泊は3万円、通所は2万円、訪問型は1万円となっているが、以前は全国トップクラスだった神戸市の委託料についても、現在は、一部では若干低い状況も生じている。キャンセル料については、前々日の17時までは無料、以降については宿泊は1,300円、通所は1,000円としている。対象者が拡大したことに伴い、キャンセル件数も増加していると事業者からも聞く。

国は令和7年度から子ども・子育て支援法に位置づけ、事業費の負担割合について、国が2分の1、都道府県と市町村が4分の1ずつ負担することとなった。他都市の状況、さらには人件費、物価高騰を踏まえ、委託料やキャンセル料の在り方を検討する。

【再質問】 植中雅子

助産師会からは、今の料金設定は赤字で、利益がほとんど得られない中で、開業の助産師の個人の犠牲の上に成り立っていると聞く。神戸市は近隣と比較して、利用時間が長くて委託費が安いと言われている。西宮市は4時間で1万5,000円、芦屋市は6時間で4万円、尼崎市6時間で2万円である。値上げが無理ならば、助産師の働き方改革の一つとして、現行の利用時間の短縮などを考えてはどうか。

【答弁】 小原副市長

利用者のアンケートの結果では、利用時間について回答者の約99%が適切、もしくは今より長いほうがよいと回答いただいた。一方で医療機関等からは、働き方の観点から負担が大きいとお声もいただいている。他都市の実情も踏まえて、利用時間についても検討していきたい。

④ 認知症フレイル予防について

【質問】 植中雅子

「認知症神戸モデル」の個人市民税均等割の上乗せに係る特例は、令和6年度末で期限を迎える。引き続き認知症の人に優しいまちづくりを推進するために延長すべきではないか。

【答弁】 久元市長

全国に先駆けた取り組みとして、診断助成制度と事故救済制度を組み合わせた「認知症神戸モデル」を令和元年度から実施している。令和7年度以降については、ご指摘を踏まえ引き続き超過課税により広く市民に負担をお願いしたいと考えている。国に対しても、全国的な制度の創設、財政支援を引き続き要望していく。

【再質問】 植中雅子

フレイル予防も含めて高齢者や認知症の方を、地域で支えるもう一歩踏み込んだ取り組みを検討していく必要がある。他都市の事例を参考の上、住民や事業者等の協力も得ながら、空き家や空き店舗を活用した認知症対策や、フレイル予防のための高齢者の居場所づくりなど、見守り強化は地域全体で取り組んでいくべきではないか。

【答弁】 小原副市長

ご指摘の空き家・空き店舗についても、集いの場として活用事例も出てきていることから、さらなる活用が進むように積極的に支援を行ってきたい。

また、高齢者や認知症の方を地域全体で見守る仕組みは重要と考えている。認知症サポーター養成講座の実施、民生委員やボランティア団体による友愛訪問活動など地域全体での見守り活動や、行方不明高齢者対策として、GPS端末を活用した「GPS安心かけつけサービス」などの実施、衣服等に貼り付けるQRコードがついた見守りシールも新たに導入を検討している。高齢者や認知症の方が、孤立することなく安心して地域で生活できるように、見守り支え合う地域づくりを目指していきたい。

【要望】 植中雅子

認知症神戸モデルでは早期受診を支援しているが、軽度認知障害の段階で歯科治療を実施しておくことの必要性を、パンフレットなどで周知していただきたい。

⑤ 放置竹林対策について

【質問】 植中雅子

神戸市の竹林は1,000ヘクタールにまで拡大している。竹林の放置は農地への悪影響だけでなく、土砂災害などを引き起こす危険がある。マイナス面が目立つ竹であるが、資源としては大変高いポテンシャルを持っている。「竹害を竹財」に変えていく竹の活用が神戸のブランドとなれば、循環型農業の推進にもつながる。芸術品や家具など多用途で活用され、神戸のブランドとなるよう、課題である伐採後の運搬手法も含めて、ビジネスモデルを構築していくべきではないか。

【答弁】 黒田副市長

竹林を放置することにより、森林や耕作放棄地に竹が侵入し、里山広葉樹の衰弱や農地への野生鳥獣の侵入を招くなど、農村地域において大きな課題となっている。これまで淡河パンププロジェクトをはじめ、民間団体による竹の活用の取り組みは広がりを見せており、竹林管理の重要性を理解いただく人を増やすため、多井畑地区において竹林整備のイベントを開催する。

令和6年度は大量の消費につながる新たな利用方法として、竹チップを遊歩道の舗装資材として活用したり、花壇苗の培養土に活用する研究や牛ふん堆肥に様々な割合で混合して活用する研究を9月から開始した。これらの活用方法が循環型農業の推進にも寄与すると考えている。

伐採後の運搬手段などについては、神戸市機械金属工業会に属する若手経営者らと連携しながら、工夫を凝らした運搬機材や破砕機について検討している。

福祉局

1. しあわせの村の今後の方向性検討について

「魅力向上」「持続可能な運営」を図るために、駐車料金の見直しや村内で働く振興協会の非正規職員(84%)の正規職員への登用を拡げ、しあわせとを感じる労働環境を提供していただきたい!

2. 認知症カフェについて

神戸市では「こうべオレンジカフェ」という認知症カフェを展開しているが、病院や社会福祉施設の中に設置されているものが大半で、病院や施設の利用者以外の方が気軽に行けるものではない。既存の地域の喫茶店に協力をいただいたり、地域やNPOが空き家・空き店舗を活用してカフェを新設する際に家賃等を支援するなど、開かれたカフェを地域に増やしていく必要があるのではないか。

3. 介護保険を未利用の高齢者への配慮について

介護サービスを利用していないお元気な高齢者に対し、長年、介護保険料をご負担いただいていた感謝の気持ちを、「市長からの感謝状」などの形にして、伝えることはできないか。

4. 超短時間雇用について

令和7年度に障害者雇用推進員を配置し、多様な働き方を創出するとされているが、超短時間雇用を採用する企業の開拓に、どのように取り組む考えか。



環境局

1. ペロブスカイト太陽電池について

再生可能エネルギーの導入促進の切り札として、市内での導入実証が進められようとしている。積極的に取り組みを進めてもらいたい、見解を伺いたい。

2. リユース促進について

民間サービスを活用した家具・家電などのリユース促進を図ってきているが、地域と連携した市によるリユース促進の取り組みも、再度、拡大していくべきと考えるがいかがか。

3. トイレカーの導入について

環境局で1台の導入となっているが、危機管理室との連携を図り、台数を増やすことは不可欠と考えるがいかがか。

4. 里山再生について

自然共生サイトとして、国の認定を受け、「KOBEL里山自然共生センターの整備(仮称)」の取り組みが予定されているが、具体的にどのような効果を期待しているか。



視察報告

ラトビア・リガ市を視察(令和6年6月4日)

ラトビア・リガ市主催歓迎レセプションが、スモールギルドホールで開催され、小原副市長、堂下副議長と共に16名の議員と民間からの参加者2人で出席し、キルスミス市長、リンダ・オゾラ副市長、高瀬大使や大使館の職員の皆さん、関係者の皆さんと交流し、懇親をさせていただきました。姉妹都市50年を迎える両市の交流が、末永く続きますようにと願います。



台湾・屏東県政府を視察(令和6年7月27日)

台湾の屏東県で初めて誕生した女性知事の周春米県長と面談し、20%を超える高齢者の介護問題や、農業県ではあるが、工業団地や半導体企業の誘致、観光施策の推進に力を入れたいとの意気込みを伺いました。経済や医療、観光等で神戸市との様々な交流や連携を進めていきたいと思います。



お知らせ



神戸空港の国際線が運航スタート

令和7年4月18日に、神戸空港の国際線の運航が開始されます。韓国、中国、台湾に航空会社4社が計5路線を開通して、週40往復を運航します。

神戸空港を発着する
国際チャーター便の就航都市



2025年4月18日(金)の運行ダイヤ

10:00着/11:00発	ソウル(仁川) 大韓航空
10:00着/11:00発	台北(桃園) スターラックス航空
12:30着/13:30発	台中 スターラックス航空
15:00着/16:00発	台北(桃園) エバー航空
17:30着/18:30発	ソウル(仁川) 大韓航空
18:00着/19:00発	上海(浦東) 吉祥航空

「KOBEL KATSU」の推進(中学校部活動の地域移行)



子供たちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することを目的とした「KOBEL KATSU」(コベカツ)の令和8年度開始に向けて、必要な環境整備や活動団体の確保等の取り組みを推進しています。

全国少年消防クラブ交流大会を神戸で開催

令和6年9月15日、グリーンアリーナ神戸で全国少年消防クラブ交流大会が開催され、北海道から九州まで、60チーム計420人が参加し、クラブ対抗リレーや、クラブ対抗障害物競走で競い合い、普段鍛えたチーム力と技術力が披露されました。私は震災地であるからこそこの神戸での開催を、ずっと要望してまいりましたが、ようやくその思いが実りました。防災ジュニアの養成は、今後の災害対応に向けての大きな課題であります。



料金別納
郵便

KOBE 中央区に
お住まいの
みなさまへ



神戸には
海と山
だけでなく

空もある!

かわなみ
発言



令和7年2月25日
本会議代表質問にて

令和7年2月25日の本会議で、令和7年度予算編成に込められた思いを神戸市に質問。久元市長より、神戸空港における国際チャーター便の運用開始により、神戸は新たな時代の国際都市としての可能性を手にすることができた。令和7年度は神戸2025ビジョンに掲げる施策を積極的に展開し、神戸が持つ可能性を開花させ、**海と山が育むグローバル貢献都市**の実現を確かなものにするための予算として編成したと、回答をいただきました。



私(かわなみ)からは、以下、発言させていただきました。

「メリケンパークや摩耶山へ行くたびに思うのですが、空がものすごく広い!

神戸には海と山だけではなくて空もある。

神戸空港がこれから開いていくので、

海と山だけではなく、空につながる街というのを
入れていただきたい、ぜひ検討お願いします」



神戸の広い「空」を通じて
神戸が世界と繋がりますように!

過去最大の市税収入

神戸市独自の減税等で、
納税者の納得感は何かある?

エアライン誘致戦略は?

2030年頃の
国際定期便就航に向けて

企画調整局に質問!

- ◆兵庫県・神戸市調整会議の意義について
- ◆企画調整局の主要施策について
- ◆外郭団体改革の推進について

◆新神戸駅前広場のデッキ新設

◆新たなロープウェイ
新たな投資には、
まずは数字をしっかりと固めて!

“わかりやすい!”をモットーに
神戸市政に関わる
トピックをお伝えします!

令和7年3月5日
予算特別委員会
第1分科会(都市局)にて

神戸市会議員

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かわなみ

ただかす
《中央区》

市政報告
vol.46

OPEN
開く

市税収入について

令和7年2月27日 予算特別委員会
第1分科会(行財政局)にて質疑

【河南(かわなみ)】

過去最大の市税収入は、好調な個人消費や企業業績による影響だけではなく、これまでICT等を活用した利便性の向上の施策や効率的な執行体制の構築、滞納整理業務の推進による毎年度の収納率の向上などの取り組みを着実に進めてきた成果の表れであると大いに評価しています。**持続可能な財政運営、安定的な財源の確保**に向け、今後の取り組みについてお聞かせください。

【野崎行財政局局長】

生産年齢人口の減少が見込まれる中、引き続き組織のスリム化を図りながら、業務効率化あるいは課税捕捉の向上等に取り組み、今後も安定的な財源が確保できるよう、税務部一丸となって取り組んでいきたい。

【河南(かわなみ)】

本市独自の施策として収入額の一部を**減税**するなど、**納税者の理解、納得感を高めていくような視点**も必要ではないでしょうか。

【野崎行財政局局長】

市税収入については行政サービスを提供する上で重要な財源です。一方、公平な税制により安定的に確保する必要があるという認識をしています。減税政策については納税者の納得感を高めることの重要性は理解していますが、市独自に減免等を行なうということにつきましても、単年度での市税収入のみで判断するのは非常に難しいという認識です。



令和7年度予算
市税収入は
過去最大の
3,314億円を計上

市役所の収入が増えるということは、市民の税負担が増えているということ。景気が良いとはいえますけれど、納税の書類を見るたび、げっそりしていらっしゃる方も多いと思います。そういった面も心に入れて市政運営をお願いします。

かわなみ
要望

神戸空港国際化を踏まえた 国際都市の取り組み

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

【河南(かわなみ)】

4月からの神戸空港の国際化に関して神戸を発展させていくためには全市一丸となり経済の活性化に取り組んでいかねばなりません。**東南アジアのビジネス交流は非常に重要**で、東アジアだけではなく、東南アジアとの航空ネットワークの構築に積極的に取り組むことが求められていると考えます。**2030年頃の国際定期便の就航に向け**、どのような戦略をもって、エアライン誘致を進めていけるのでしょうか。

【久元市長】

ビジネス交流やインバウンド誘客を強化。海外商談会の開催、市内企業の海外展開支援、シンガポール拠点設置などがあります。観光分野では、多言語対応や手ぶら観光を推進し、MICE誘致や交通アクセスの整備も進めます。国際定期便就航を見据え、新産業の育成や地元消費の拡大を図りたい。また、航空路線の定着拡充、路線開拓が必要。インバウンドのみならず、神戸以西の新たな市場開拓、アウトバウンドの需要創出に取り組んでいきます。



©令和7年4月18日から
国際チャーター便が解禁。
韓国、中国、台湾の5都市と
神戸を結ぶ便が
週40便運航。
スポットでベトナムへの
運航も予定。

かわなみ
要望

官民連携による経済活性化の推進で、市としてさらなる機能強化と戦略的な取り組みを進めることを要望します。



神戸空港国際化をきっかけとした神戸の成長に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました

企画調整局審査

令和7年2月28日 予算特別委員会
第1分科会(企画調整局)にて質疑



兵庫県・神戸市調整会議の意義について

私が副議長を務めさせていただいた際に、神戸市と兵庫県の県・市調整会議に出席をさせていただきました。県と市が各々の主要施策を披露、資料説明に終わり、実のある意見交換はないまま全体的に予定調和に終わった印象を受けました。県・市調整会議で、市当局として何を期待し、どういった目的を持って開催されているのでしょうか。



企画調整局の主要施策について

企画調整局は重要施策の企画立案や総合調整機能を担っており、全市の施策を先導するような部局であると認識しています。しかし、令和7年度予算において企画調整局の主要施策には新規施策が掲げられておらず、物足りない印象を受けますが。



外郭団体改革の推進について

令和6年度、外郭団体に関する特別委員会の委員を務めました。団体ごとの運営実態や事業効果に関する審議を行うことは重要と感じる一方で、その場は個々の団体に関する議論にとどまっているという思いもあります。経営の合理化を図るためにも、外郭団体の見直しを総括する企画調整局において、団体共通の課題を横断的に検討することが極めて重要であろうと考えますが、いかがでしょうか。

【以下、辻企画調整局長より回答】

知事や県会議長の話を聞ける貴重な場。会議の開催にあたり、各議題の所管部局同士でコミュニケーションも取れるよい機会になっています。**資料の説明時間を最小限にし意見交換の時間を十分に**設けて開催できるように、県と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

令和7年度においては、広報戦略部と秘書課は企画調整局の方に移管、地域再生担当局長も新設となります。**コントロールタワーとしての機能を強化**していくと、官房的な機能を強化していくということだと思しますので、全庁挙げて活発な議論を行い、**骨太の新規施策を立案**できるような形で取り組んでいきたい。

類似の事業や、共同実施が可能なものについて、課題が見えてきたところ。人材の獲得やDX化など、**外郭団体を取り巻く経営環境が今後厳しくなっていくと思われ、経営改革には不断の努力が求められます**。外郭団体の存在目的やミッション、達成状況をチェック、全市的、包括的な俯瞰もしながら、推進本部企画調整局が中心となり見直しに取り組みが重要だと考えています。

新たな投資には まずは数字をしっかりと固めて!と要望

令和7年3月5日 予算特別委員会 第1分科会(都市局)にて質疑

新神戸駅前広場の デッキ新設について

デッキの新設で、人が行き交い、憩い、にぎわいを創出する拠点にしていくとのことですが、乗降客の動線は地下鉄に向かう人が多く、デッキが十分に生かしきれないのでは?と不安があります。新神戸駅の活性化については、デッキの計画のみならず、都心に向かう地下鉄への動線、「コトノハコ」エリアやロープウェイの活性化、北野への動線などが大切です。**デッキの新設に終わらず、この周辺の事業を行って何人乗降客が増えるのかという数字の面を固めて**、民間から投資が行われ、新神戸駅周辺が活性化されるような事業を進めていただきたいと要望しました。

かわなみ
要望

六甲山・摩耶山上へのアクセス ハーブ園山頂駅と掬星台を結ぶ 新たなロープウェイについて

新たなロープウェイについて、実現可能性の検討・調査を行うとのことですが、まやビューラインが年間約9万人の乗客数である中、提案のあった新ロープウェイに年間約30万人の乗客に利用いただくのはハードルが高いのではないかと感じています。新ロープウェイの**新たな投資に向けては、需要予測と事業費・運営費の精査を行い、採算性を確認した上で**事業に着手する必要があると考えますが。

【山本都市局長】

令和7年度は導入の可能性の検討を行うこととしています。事業性についても、ロープウェイ事業の実績のある民間事業者などにヒアリングを行う予定。その上で、事業実施に進む段階となれば、しっかりとその時点において事業性の検討を慎重に行ってまいりたい。



山の上に人を呼び込む
新たなコンテンツも必要では?



本紙記載の質疑内容詳細はWEBで詳しくお読みいただけます

かわなみ忠和 検索

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 かわなみ市政報告vol.46 編集:2025年(令和7年)3月



令和7年2月25日
本会議代表質問にて

高校生等の通学定期券補助

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

令和6年9月に拡充された補助額が、令和7年度よりさらに拡充されます

	令和6年9月～令和7年3月	令和7年4月～
神戸市内 の高校等に通学	通学定期代の 全額	通学定期代の 全額
神戸市外 の高校等に通学	月1万2000円を 超える額の半分	通学定期代の 半額
年齢要件	上限：満18歳となる年度	上限：満20歳となる年度



現在の補助額では、市外高校等の通学者にとって、交通費が依然として大きい状況。経済的理由により進学先の選択が制約されることのないよう、補助額のさらなる引上げを検討お願いしました。

路上喫煙対策の強化

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて



【河南(かななみ)】

令和7年予算案において、屋内型喫煙所に係る維持管理費用に対して補助制度が拡大されたことは、これまで我が会派が要望してきたことであり、大変評価しています。一方で、**健康面でより安全・安心なまちづくりを進めるには**、さらなる分煙の徹底が重要と考えます。

三宮、元町や六甲道駅周辺を路上喫煙禁止地区として指定し、指導員の巡回や、違反者から過料徴収を実施していますが、規制エリアは限定的であり、**喫煙所の設置拡大と併せて、禁止地区の拡大も検討が必要ではないでしょうか。**

参考)大阪市では、令和7年1月27日から、路上喫煙を禁止する区域を大阪市内全域に拡大

【今西副市長】

過料徴収という厳しい対策を行なっているにもかかわらず、喫煙場所が十分に確保されていない現状の改善に注力しているところ。直ちに規制エリアを拡大するのではなく、広報啓発や通勤時間帯の警察OBによる指導、民間啓発員による注意・指導を的確、効果的に行ない、路上喫煙対策に取り組んでいきたいと考えています。

神戸市の路上喫煙対策の取り組み

- ◎平成20年度より路上喫煙禁止地区を設け、違反者から過料徴収とともに公設喫煙所を設置
- ◎令和6年度、喫煙所の整備に向けた補助金制度を創設し、三宮地区において新たな喫煙所を2か所確保



たばこポイ捨て、路上喫煙対策に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました



大安亭市場内の道路 凸凹解消へ

長年、地域と共に声をあげ続けていた【大安亭市場内の道路】に関して、ようやく令和7年3月14日から補修工事が始まりました。工事完了まで時間はかかりますが、安心・安全な道路環境へと改善が進み始めています。

工事計画

- ◎1～3の3工区に分ける
- ◎3工区を3カ年もしくは2カ年に分けて
- ◎令和7年3月に1工区の補修工事完了



神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かななみ **ただかす**
《中央区》

発行：自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 かななみ市政報告vol.46 編集：2025年(令和7年)3月

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

【かななみ事務所】〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653

■kobe.kawanami@gmail.com ■http://55kawanami.com

道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のこともぜひお聞かせ下さい。





料金別納



中央区に
お住まいの
みなさまへ



タウンプラス

神戸には
海と山
だけでなく

空もある!

かわなみ
発言



令和7年2月25日
本会議代表質問にて

令和7年2月25日の本会議で、令和7年度予算編成に込められた思いを神戸市に質問。久元市長より、神戸空港における国際チャーター便の運用開始により、神戸は新たな時代の国際都市としての可能性を手にすることができた。令和7年度は神戸2025ビジョンに掲げる施策を積極的に展開し、神戸が持つ可能性を開花させ、**海と山が育むグローバル貢献都市**の実現を確かなものにするための予算として編成したと、回答をいただきました。



私(かわなみ)からは、以下、発言させていただきました。

「メリケンパークや摩耶山へ行くたびに思うのですが、空がものすごく広い!」

神戸には海と山だけではなくて空もある。

神戸空港がこれから開いていくので、

海と山だけではなく、空につながる街というのを

入れていただきたい、ぜひ検討お願いします」



神戸の広い「空」を通じて
神戸が世界と繋がりますように!

過去最大の市税収入

神戸市独自の減税等で、納税者の納得感は何かある?

エアライン誘致戦略は?

2030年頃の国際定期便就航に向けて

企画調整局に質問!

- ◆兵庫県・神戸市調整会議の意義について
- ◆企画調整局の主要施策について
- ◆外郭団体改革の推進について

◆新神戸駅前広場のデッキ新設

◆新たなロープウエー

新たな投資には、まずは数字をしっかりと固めて!

“わかりやすい!”をモットーに
神戸市政に関わる
トピックをお伝えします!

神戸市会議員

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かわなみ

ただかす
《中央区》

市政報告
vol.46

OPEN
開く

市税収入について

令和7年2月27日 予算特別委員会
第1分科会(行財政局)にて質疑

【河南(かわなみ)】

過去最大の市税収入は、好調な個人消費や企業業績による影響だけではなく、これまでICT等を活用した利便性の向上の施策や効率的な執行体制の構築、滞納整理業務の推進による毎年度の収納率の向上などの取り組みを着実に進めてきた成果の表れであると大いに評価しています。**持続可能な財政運営、安定的な財源の確保**に向け、今後の取り組みについてお聞かせください。

【野崎行財政局局長】

生産年齢人口の減少が見込まれる中、引き続き組織のスリム化を図りながら、業務効率化あるいは課税捕捉の向上等に取り組み、今後も安定的な財源が確保できるよう、税務部一丸となって取り組んでいきたい。

【河南(かわなみ)】

本市独自の施策として収入額の一部を**減税**するなど、**納税者の理解、納得感を高めていくような視点**も必要ではないでしょうか。

【野崎行財政局局長】

市税収入については行政サービスを提供する上で重要な財源です。一方、公平な税制により安定的に確保する必要があるという認識をしています。減税政策については納税者の納得感を高めることの重要性は理解していますが、市独自に減免等を行なうということにつきましては、単年度での市税収入のみで判断するのは非常に難しいという認識です。



令和7年度予算
市税収入は
過去最大の
3,314億円を計上

市役所の収入が増えるということは、市民の税負担が増えているということ。景気が良いとはいえますけれども、納税の書類を見るたび、げっそりしていらっしゃる方も多いと思います。そういった面も心に入れて市政運営をお願いします。

かわなみ
要望

神戸空港国際化を踏まえた 国際都市の取り組み

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

【河南(かわなみ)】

4月からの神戸空港の国際化に関して神戸を発展させていくためには全市一丸となり経済の活性化に取り組んでいかねばなりません。**東南アジアのビジネス交流は非常に重要**で、東アジアだけではなく、東南アジアとの航空ネットワークの構築に積極的に取り組むことが求められていると考えます。**2030年頃の国際定期便の就航に向け**、どのような戦略をもって、エアライン誘致を進めていかれるのでしょうか。

【久元市長】

ビジネス交流やインバウンド誘客を強化。海外商談会の開催、市内企業の海外展開支援、シンガポール拠点設置などがあります。観光分野では、多言語対応や手ぶら観光を推進し、MICE誘致や交通アクセスの整備も進めます。国際定期便就航を見据え、新産業の育成や地元消費の拡大を図りたい。また、航空路線の定着拡充、路線開拓が必要。インバウンドのみならず、神戸以西の新たな市場開拓、アウトバウンドの需要創出に取り組んでいきます。



◎令和7年4月18日から
国際チャーター便が解禁。
韓国、中国、台湾の5都市と
神戸を結ぶ便が
週40便運航。
スポットでベトナムへの
運航も予定。

かわなみ
要望

官民連携による経済活性化の推進で、市としてさらなる機能強化と戦略的な取り組みを進めることを要望します。



神戸空港国際化をきっかけとした神戸の成長に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました

企画調整局審査

令和7年2月28日 予算特別委員会
第1分科会(企画調整局)にて質疑



兵庫県・神戸市調整会議の意義について

私が副議長を務めさせていただいた際に、神戸市と兵庫県の県・市調整会議に出席させていただきました。県と市が各々の主要施策を披露、資料説明に終わり、実のある意見交換はないまま全体的に予定調和に終わった印象を受けました。県・市調整会議で、市当局として何を期待し、どういった目的を持って開催されているのでしょうか。



企画調整局の主要施策について

企画調整局は重要施策の企画立案や総合調整機能を担っており、全市の施策を先導するような部局であると認識しています。しかし、令和7年度予算において企画調整局の主要施策には新規施策が掲げられておらず、物足りない印象を受けますが。



外郭団体改革の推進について

令和6年度、外郭団体に関する特別委員会の委員を務めました。団体ごとの運営実態や事業効果に関する審議を行うことは重要と感じる一方で、その場は個々の団体に関する議論にとどまっているという思いもあります。経営の合理化を図るためにも、外郭団体の見直しを総括する企画調整局において、団体共通の課題を横断的に検討することが極めて重要であろうと考えますが、いかがでしょうか。

【以下、辻企画調整局長より回答】

知事や県会議長の話を聞ける貴重な場。会議の開催にあたり、各議題の所管部局同士でコミュニケーションも取れるよい機会になっています。**資料の説明時間を最小限にし意見交換の時間を十分に設けて開催**できるように、県と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

令和7年度においては、広報戦略部と秘書課は企画調整局の方に移管、地域再生担当局長も新設となります。**コントロールタワーとしての機能を強化**していくと、官房的な機能を強化していくということだと思いますので、全庁挙げて活発な議論を行い、**骨太の新規施策を立案**できるような形で取り組んでいきたい。

類似の事業や、共同実施が可能なものについて、課題が見えてきたところ。人材の獲得やDX化など、**外郭団体を取り巻く経営環境が今後厳しくなっていくと思われる、経営改革には不断の努力が求められます**。外郭団体の存在目的やミッション、達成状況をチェック、全市的、包括的な俯瞰もしながら、推進本部企画調整局が中心となり見直しに取り組みが重要だと考えています。

かわなみ注目
今後が
気になる!

新たな投資には まずは数字をしっかりと固めて!と要望

令和7年3月5日 予算特別委員会 第1分科会(都市局)にて質疑

新神戸駅前広場の デッキ新設について

デッキの新設で、人が行き交い、憩い、にぎわいを創出する拠点にしていくとのことですが、乗降客の動線は地下鉄に向かう人が多く、デッキが十分に生かしきれないのでは?と不安があります。新神戸駅の活性化については、デッキの計画のみならず、都心に向かう地下鉄への動線、「コトノハコ」エリアやロープウェイの活性化、北野への動線などが大切です。**デッキの新設に終わらず、この周辺の事業を行って何人乗降客が増えるのかという数字の面を固めて**、民間から投資が行われ、新神戸駅周辺が活性化されるような事業を進めていただきたいと要望しました。

かわなみ
要望

六甲山・摩耶山上へのアクセス ハーブ園山頂駅と掬星台を結ぶ 新たなロープウェイについて

新たなロープウェイについて、実現可能性の検討・調査を行うとのことですが、まやビューラインが年間約9万人の乗客数である中、提案のあった新ロープウェイに年間約30万人の乗客に利用いただくのはハードルが高いのではないかと感じています。新ロープウェイの**新たな投資に向けては、需要予測と事業費・運営費の精査を行い、採算性を確認した上で事業に着手**する必要があると考えますが。

【山本都市局長】

令和7年度は導入の可能性の検討を行うこととしています。事業性についても、ロープウェイ事業の実績のある民間事業者などにヒアリングを行う予定。その上で、事業実施に進む段階となれば、しっかりとその時点において事業性の検討を慎重に行ってまいります。



山の上に人を呼び込む
新たなコンテンツも必要では?

本紙記載の質疑内容詳細はWEBで詳しくお読みいただけます
かわなみ忠和 検索

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 かわなみ市政報告vol.46 編集:2025年(令和7年)3月



令和7年2月25日
本会議代表質問にて

高校生等の通学定期券補助

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

令和6年9月に拡充された補助額が、令和7年度よりさらに拡充されます

	令和6年9月～令和7年3月	令和7年4月～
神戸市内 の高校等に通学	通学定期代の 全額	通学定期代の 全額
神戸市外 の高校等に通学	月1万2000円を 超える額の半分	通学定期代の 半額
年齢要件	上限：満18歳となる年度	上限：満20歳となる年度



現在の補助額では、市外高校等の通学者にとって、交通費が依然として大きい状況。経済的理由により進学先の選択が制約されることのないよう、補助額のさらなる引上げを検討お願いしました。

路上喫煙対策の強化

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて



【河南(かわなみ)】

令和7年予算案において、屋内型喫煙所に係る維持管理費用に対して補助制度が拡大されたことは、これまで我が会派が要望してきたことであり、大変評価しています。一方で、**健康面でより安全・安心なまちづくりを進めるには**、さらなる分煙の徹底が重要と考えます。

三宮、元町や六甲道駅周辺を路上喫煙禁止地区として指定し、指導員の巡回や、違反者から過料徴収を実施していますが、規制エリアは限定的であり、**喫煙所の設置拡大と併せて、禁止地区の拡大も検討が必要ではないでしょうか。**

参考) 大阪市では、令和7年1月27日から、路上喫煙を禁止する区域を大阪市内全域に拡大

【今西副市長】

過料徴収という厳しい対策を行なっているにもかかわらず、喫煙場所が十分に確保されていない現状の改善に注力しているところ。直ちに規制エリアを拡大するのではなく、広報啓発や通勤時間帯の警察OBによる指導、民間啓発員による注意・指導を的確、効果的に行ない、路上喫煙対策に取り組んでいきたいと考えています。

神戸市の路上喫煙対策の取り組み

- ◎平成20年度より路上喫煙禁止地区を設け、違反者から過料徴収とともに公設喫煙所を設置
- ◎令和6年度、喫煙所の整備に向けた補助金制度を創設し、三宮地区において新たな喫煙所を2カ所確保



たばこポイ捨て、路上喫煙対策に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました



大安亭市場内の道路 凸凹解消へ

長年、地域と共に声をあげ続けていた【大安亭市場内の道路】に関して、ようやく令和7年3月14日から補修工事が始まりました。工事完了まで時間はかかりますが、安心・安全な道路環境へと改善が進み始めています。

工事計画

- ◎1～3の3工区に分ける
- ◎3工区を3力年もしくは2力年に分けて
- ◎令和7年3月に1工区の補修工事完了



神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かわなみ **ただかす**
《中央区》

発行：自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 かわなみ市政報告vol.46／タウンプラス版 編集：2025年(令和7年)3月

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

【かわなみ事務所】〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653

■kobe.kawanami@gmail.com ■http://55kawanami.com

道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のこともぜひお聞かせ下さい。



料金別納
郵便

配達地域指定



中央区に
お住まいの
みなさまへ



神戸には
海と山
だけでなく

空もある！

かわなみ
発言



令和7年2月25日
本会議代表質問にて

令和7年2月25日の本会議で、令和7年度予算編成に込められた思いを神戸市に質問。久元市長より、神戸空港における国際チャーター便の運用開始により、神戸は新たな時代の国際都市としての可能性を手にすることができた。令和7年度は神戸2025ビジョンに掲げる施策を積極的に展開し、神戸が持つ可能性を開花させ、**海と山が育むグローバル貢献都市**の実現を確かなものにするための予算として編成したと、回答をいただきました。



私(かわなみ)からは、以下、発言させていただきました。

「メリケンパークや摩耶山へ行くたびに思うのですが、空がものすごく広い！」

神戸には海と山だけではなくて空もある。

神戸空港がこれから開いていくので、海と山だけではなく、空につながる街というのを入れていただきたい、ぜひ検討お願いします」



神戸の広い「空」を通じて
神戸が世界と繋がりますように！

過去最大の市税収入

神戸市独自の減税等で、納税者の納得感は何かある？

エアライン誘致戦略は？

2030年頃の国際定期便就航に向けて

企画調整局に質問！

- ◆兵庫県・神戸市調整会議の意義について
- ◆企画調整局の主要施策について
- ◆外郭団体改革の推進について

◆新神戸駅前広場のデッキ新設

◆新たなロープウエー

新たな投資には、まずは数字をしっかりと固めて！

“わかりやすい！”をモットーに
神戸市政に関わるトピックをお伝えします！

令和7年3月5日
予算特別委員会
第1分科会(都市局)にて

神戸市会議員

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かわなみ ただかず
《中央区》

市政報告
vol.46

OPEN
開く

市税収入について

令和7年2月27日 予算特別委員会
第1分科会(行財政局)にて質疑

【河南(かなみ)】

過去最大の市税収入は、好調な個人消費や企業業績による影響だけではなく、これまでICT等を活用した利便性の向上の施策や効率的な執行体制の構築、滞納整理業務の推進による毎年度の収納率の向上などの取り組みを着実に進めてきた成果の表れであると大いに評価しています。**持続可能な財政運営、安定的な財源の確保**に向け、今後の取り組みについてお聞かせください。

【野崎行財政局局長】

生産年齢人口の減少が見込まれる中、引き続き組織のスリム化を図りながら、業務効率化あるいは課税捕捉の向上等に取り組み、今後も安定的な財源が確保できるよう、税務部一丸となって取り組んでいきたい。

【河南(かなみ)】

本市独自の施策として収入額の一部を**減税**するなど、**納税者の理解、納得感を高めていくような視点**も必要ではないでしょうか。

【野崎行財政局局長】

市税収入については行政サービスを提供する上で重要な財源です。一方、公平な税制により安定的に確保する必要があるという認識をしています。減税政策については納税者の納得感を高めることの重要性は理解していますが、市独自に減免等を行なうということにつきましても、単年度での市税収入のみで判断するのは非常に難しいという認識です。



令和7年度予算
市税収入は
過去最大の
3,314億円を計上

市役所の収入が増えるということは、市民の税負担が増えているということ。景気が良いとはいえますけれど、納税の書類を見るたび、げっそりしていらっしゃる方も多いと思います。そういった面も心に入れて市政運営をお願いします。

かなみ
要望

神戸空港国際化を踏まえた 国際都市の取り組み

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

【河南(かなみ)】

4月からの神戸空港の国際化に関して神戸を発展させていくためには全市一丸となり経済の活性化に取り組んでいかねばなりません。**東南アジアのビジネス交流は非常に重要**で、東アジアだけではなく、東南アジアとの航空ネットワークの構築に積極的に取り組むことが求められていると考えます。**2030年頃の国際定期便の就航に向け**、どのような戦略をもって、エアライン誘致を進めていかれるのでしょうか。

【久元市長】

ビジネス交流やインバウンド誘客を強化。海外商談会の開催、市内企業の海外展開支援、シンガポール拠点設置などがあります。観光分野では、多言語対応や手ぶら観光を推進し、MICE誘致や交通アクセスの整備も進めます。国際定期便就航を見据え、新産業の育成や地元消費の拡大を図りたい。また、航空路線の定着拡充、路線開拓が必要。インバウンドのみならず、神戸以西の新たな市場開拓、アウトバウンドの需要創出に取り組んでいきます。



◎令和7年4月18日から
国際チャーター便が解禁。
韓国、中国、台湾の5都市と
神戸を結ぶ便が
週40便運航。
スポットでベトナムへの
運航も予定。

かなみ
要望

官民連携による経済活性化の推進で、市としてさらなる機能強化と戦略的な取り組みを進めることを要望します。



神戸空港国際化をきっかけとした神戸の成長に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました

企画調整局審査

令和7年2月28日 予算特別委員会
第1分科会(企画調整局)にて質疑



兵庫県・神戸市調整会議の意義について

私が副議長を務めさせていただいた際に、神戸市と兵庫県の県・市調整会議に出席をさせていただきました。県と市が各々の主要施策を披露、資料説明に終わり、実のある意見交換はないまま全体的に予定調和に終わった印象を受けました。県・市調整会議で、市当局として何を期待し、どういった目的を持って開催されているのでしょうか。



企画調整局の主要施策について

企画調整局は重要施策の企画立案や総合調整機能を担っており、全市の施策を先導するような部局であると認識しています。しかし、令和7年度予算において企画調整局の主要施策には新規施策が掲げられておらず、物足りない印象を受けますが。



外郭団体改革の推進について

令和6年度、外郭団体に関する特別委員会の委員を務めました。団体ごとの運営実態や事業効果に関する審議を行うことは重要と感じる一方で、その場は個々の団体に関する議論にとどまっているという思いもあります。経営の合理化を図るためにも、外郭団体の見直しを総括する企画調整局において、団体共通の課題を横断的に検討することが極めて重要であろうと考えますが、いかがでしょうか。

【以下、辻企画調整局長より回答】

知事や県会議長の話を聞ける貴重な場。会議の開催にあたり、各議題の所管部局同士でコミュニケーションも取れるよい機会になっています。**資料の説明時間を最小限にし意見交換の時間を十分に設けて開催**できるように、県と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

令和7年度においては、広報戦略部と秘書課は企画調整局の方に移管、地域再生担当局長も新設となります。**コントロールタワーとしての機能を強化**していくと、官房的な機能を強化していくということだと思しますので、全庁挙げて活発な議論を行い、**骨太の新規施策を立案**できるような形で取り組んでいきたい。

類似の事業や、共同実施が可能なものについて、課題が見えてきたところ。人材の獲得やDX化など、**外郭団体を取り巻く経営環境が今後厳しくなっていくと思われる、経営改革には不断の努力が求められます**。外郭団体の存在目的やミッション、達成状況をチェック、全市的、包括的な俯瞰もしながら、推進本部企画調整局が中心となり見直しに取り組みが重要だと考えています。

かなみ注目
今後が
気になる!

新たな投資には まずは数字をしっかりと固めて!と要望

令和7年3月5日 予算特別委員会 第1分科会(都市局)にて質疑

新神戸駅前広場の デッキ新設について

デッキの新設で、人が行き交い、憩い、にぎわいを創出する拠点にしていくとのことですが、乗降客の動線は地下鉄に向かう人が多く、デッキが十分に生かされないのでは?と不安があります。新神戸駅の活性化については、デッキの計画のみならず、都心に向かう地下鉄への動線、「コトノハコ」エリアやロープウェイの活性化、北野への動線などが大切です。**デッキの新設に終わらず、この周辺の事業を行って何人乗降客が増えるのかという数字の面を固めて**、民間から投資が行われ、新神戸駅周辺が活性化されるような事業を進めていただきたいと要望しました。

かなみ
要望

六甲山・摩耶山上へのアクセス ハーブ園山頂駅と掬星台を結ぶ 新たなロープウェイについて

新たなロープウェイについて、実現可能性の検討・調査を行うとのことですが、まやピューラインが年間約9万人の乗客数である中、提案のあった新ロープウェイに年間約30万人の乗客に利用いただくのはハードルが高いのではないかと感じています。新ロープウェイの**新たな投資に向けては、需要予測と事業費・運営費の精査を行い、採算性を確認した上で事業に着手**する必要があると考えますが。

【山本都市局長】
令和7年度は導入の可能性の検討を行うこととしています。事業性についても、ロープウェイ事業の実績のある民間事業者などにヒアリングを行う予定。その上で、事業実施に進む段階となれば、しっかりとその時点において事業性の検討を慎重に行ってまいります。

山の上に人を呼び込む
新たなコンテンツも必要では?

本紙記載の質疑内容詳細はWEBで詳しくお読みいただけます
かなみ忠和 検索
自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 かなみ市政報告vol.46 編集:2025年(令和7年)3月



令和7年2月25日
本会議代表質問にて

高校生等の通学定期券補助

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

令和6年9月に拡充された補助額が、令和7年度よりさらに拡充されます

	令和6年9月～令和7年3月	令和7年4月～
神戸市内 の高校等に通学	通学定期代の 全額	通学定期代の 全額
神戸市外 の高校等に通学	月1万2000円を 超える額の半分	通学定期代の 半額
年齢要件	上限：満18歳となる年度	上限：満20歳となる年度

拡充

引き上げ



かなみ
要望

現在の補助額では、市外高校等の通学者にとって、交通費が依然として大きい状況。経済的理由により進学先の選択が制約されることのないよう、補助額のさらなる引上げを検討お願いしました。

路上喫煙対策の強化

令和7年2月25日 本会議
代表質疑にて

【河南(かなみ)】

令和7年予算案において、屋内型喫煙所に係る維持管理費用に対して補助制度が拡大されたことは、これまで我が会派が要望してきたことであり、大変評価しています。一方で、**健康面でより安全・安心なまちづくりを進めるには**、さらなる分煙の徹底が重要と考えます。

三宮、元町や六甲道駅周辺を路上喫煙禁止地区として指定し、指導員の巡回や、違反者から過料徴収を実施していますが、規制エリアは限定的であり、**喫煙所の設置拡大と併せて、禁止地区の拡大も検討が必要ではないでしょうか。**

参考)大阪市では、令和7年1月27日から、路上喫煙を禁止する区域を大阪市内全域に拡大



たばこポイ捨て、路上喫煙対策に関しては、令和6年10月9日 決算特別委員会 総括質疑でも質疑しました



【今西副市長】

過料徴収という厳しい対策を行なっているにもかかわらず、喫煙場所が十分に確保されていない現状の改善に注力しているところ。直ちに規制エリアを拡大するのではなく、広報啓発や通勤時間帯の警察OBによる指導、民間啓発員による注意・指導を的確、効果的に行ない、路上喫煙対策に取り組んでいきたいと考えています。

神戸市の路上喫煙対策の取り組み

- ◎平成20年度より路上喫煙禁止地区を設け、違反者から過料徴収とともに公設喫煙所を設置
- ◎令和6年度、喫煙所の整備に向けた補助金制度を創設し、三宮地区において新たな喫煙所を2カ所確保



かなみ
実現!

大安亭市場内の道路 凸凹解消へ

長年、地域と共に声をあげ続けていた【大安亭市場内の道路】に関して、ようやく令和7年3月14日から補修工事が始まりました。工事完了まで時間はかかりますが、安心・安全な道路環境へと改善が進み始めています。

工事計画

- ◎1～3の3工区に分ける
- ◎3工区を3カ年もしくは2カ年に分けて
- ◎令和7年3月に1工区の補修工事完了



神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かなみ **ただかす**
《中央区》

発行:自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 かなみ市政報告vol.46/配達地域指定版 編集:2025年(令和7年)3月

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

【かなみ事務所】〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653

■kobe.kawanami@gmail.com ■http://55kawanami.com

道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のこともお聞かせ下さい。

